

【部課名： 市長公室地域経済課 】

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
農業振興対策事業		市内全域が市街化区域であることから、都市農業の振興および営農改善のために必要な支援を行う。		指標	総計の現状値	R6実績値	厳しい農業環境の中、一定の作付面積の確保を図ることができた。また、休耕田にレンゲやコスモスを栽培し、オープンスペースの景観形成を行い、都市景観の向上につながった。毎年秋にJAいずみのが主催する農業まつりについては、地域で生産された米や野菜の販売支援を行い、地産地消を推進するとともに都市農業の振興やPRを行った。エコ農産物補助件数については、環境に配慮した農業を行う農家に対して支援することができた。	農業担い手の高齢化や後継者不足により、農地の宅地化が進行しているため、より効果的な農業振興対策についてJAいずみのと継続協議が必要である。
総合計画の位置づけ				大阪エコ農産物認証を受けた農産物が市内（学校給食等）で消費されている割合	0%	92.60%		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち			大阪エコ農産物認証件数	4件	9件		
個別目標	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち							
		事業費（うち市負担額）【千円】						
		R5決算額	986	820				
		R6決算見込額	1,036	820				
個別目標の方向性	地産地消の推進と安全安心な農水産物の生産維持・促進に取り組みます	R7予算額	1,705	885				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
経営所得安定対策等推進事業		国の事業である経営所得安定対策等推進事業実施のため、泉大津市農業再生協議会の運営を支援する。		指標	総計の現状値	R6実績値	事業の活用により、営農者の農業経営の安定化が図られた。	農業担い手の高齢化や後継者不足により、農地の宅地化が進行しているため、より効果的な農業振興対策についてJAいずみのと継続協議が必要である。
総合計画の位置づけ				大阪エコ農産物認証を受けた農産物が市内（学校給食等）で消費されている割合	0%	92.60%		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち			大阪エコ農産物認証件数	4件	9件		
個別目標	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち							
		事業費（うち市負担額）【千円】						
		R5決算額	343	10				
		R6決算見込額	292	3				
個別目標の方向性	地産地消の推進と安全安心な農水産物の生産維持・促進に取り組みます	R7予算額	458	458				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
農地対策事業		農業用水源であるため池を保全し、農業の振興を図るとともに、市民が自然とふれあう場として、保全に努め、市民に親しまれる農業の形成を目指す。		指標	総計の現状値	R6実績値	ため池提体の除草を行うことで、池の景観形成につながった。	原則的にこれまでの体制を継続する方向である。
総合計画の位置づけ				大阪エコ農産物認証を受けた農産物が市内（学校給食等）で消費されている割合	0%	92.60%		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち			大阪エコ農産物認証件数	4件	9件		
個別目標	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち							
		事業費（うち市負担額）【千円】						
		R5決算額	1,180	1,015				
		R6決算見込額	1,351	1,020				
個別目標の方向性	地産地消の推進と安全安心な農水産物の生産維持・促進に取り組みます	R7予算額	1,185	1,185				

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み		
団体等育成支援事業（地域経済課）		泉大津漁業協同組合と協力して、良好な漁業環境の整備を行い、安全操業の確保および漁業従事者の維持を図る。		指標	総計の現状値	R6実績値	港内清掃及び漁場の整備・監視等により、漁業の維持管理を図ることができた。また、漁業協同組合と立ち上げた水産業再生委員会において、今後の漁業経営の安定化に向け策定を行ったプランの実施に努めている。	漁業経営の安定化に向けて、泉大津市と泉大津漁業協同組合で構成する水産業再生委員会が策定を行った「浜の活力再生プラン」の実施に関して、事業を展開していく必要がある。		
総合計画の位置づけ				大阪エコ農産物認証を受けた農産物が市内（学校給食等）で消費されている割合	0%	92.60%				
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち			大阪エコ農産物認証件数	4件	9件				
個別目標	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】								
		R5決算額	267	267						
個別目標の方向性	地産地消の推進と安全安心な農水産物の生産維持・促進に取り組みます	R6決算見込額	267	267						
		R7予算額	267	267						
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み		
産業振興対策事業		泉大津商工会議所等が行う産業振興事業に対する補助をはじめ、市内中小企業者に対する利子補給等の経営安定対策など、本市産業を振興するための諸事業を行った。		指標	総計の現状値	R6実績値	泉大津商工会議所が市内の事業者・商工業者の販路開拓を図るために実施した取り組み等を支援し、商業・商工業の発展、振興を図ることができた。また、創業に係る支援策として家賃額の2分の1（上限50,000円）を12か月間補助することで創業への挑戦を支援することができた。	市内にある全ての事業者を把握することは困難で、制度自体のより一層の広報・周知が必要である。		
総合計画の位置づけ				市が支援した創業・新規出店件数	10件	37件				
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち									
個別目標	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】								
		R5決算額	12,919	4,420						
個別目標の方向性	起業・創業の支援と企業誘致の促進により新規産業の創出と育成を進めます	R6決算見込額	25,321	11,903						
		R7予算額	180,688	21,670						
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み		
地域産業振興対策事業		地場産業である繊維工業や地域に密着した既存産業が環境の変化等に十分に対応し、競争力を維持・向上していくよう、様々な視点に立った取組を展開する。		指標	総計の現状値	R6実績値	地域産業関連諸団体や地域産業を主たる事業とする地域グループが行う販路開拓や新商品の新技術開発への研究開発事業などへの取組に対する支援を行った。また「毛布・ニット謝恩セール」などの各イベントに対して補助支援を行った。	原則的にこれまでの体制を継続する方向である。		
総合計画の位置づけ				駅（泉大津駅、松ノ浜駅、北助松駅）の周辺に活気があると思う市民の割合	48.40%	41.80%				
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち			製造業事業所当たりの純付加価値額	8,883万円	—				
個別目標	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】		繊維工業事業所の租付加価値額	11,317百万円	—				
		R5決算額	10,290	4,093						
個別目標の方向性	地域産業の継承・発展と商工業の経営力向上に向けた自主的な活動を支援します	R6決算見込額	16,361	9,865	中小企業者に対する利子補給による金融支援件数	20件	36件			
		R7予算額	11,569	4,385						

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
日本一の毛布のまちPR事業		本市の特産品である毛布などの繊維製品を全国各地の自治体や各種団体が催すイベントなどで展示・販売し、「日本一の毛布のまち」のPRを行う。			指標	総計の現状値	R6実績値	特産品のPRによる産業振興を図るため、本市内の空き店舗等を利用し、特産品のPRかつ販売事業に対し、支援を行った結果、商店街や地域産業の活性化を目的とする活動を促進することができた。	原則的にこれまでの体制を継続する方向である。
総合計画の位置づけ					駅（泉大津駅、松ノ浜駅、北助松駅）の周辺に活気があると思う市民の割合	48.40%	41.80%		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち				製造業事業所当たりの純付加価値額	8,883万円	－		
個別目標	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち				繊維工業事業所の租付加価値額	11,317百万円	－		
個別目標の方向性		事業費（うち市負担額）【千円】			中小企業者に対する利子補給による金融支援件数	20件	36件		
		R5決算額	215	215					
		R6決算見込額	189	189					
		R7予算額	315	315					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
泉大津プロモーション事業		泉大津市の知名度を上げ、地域の活性化を図るため、行政と産業界一体となって事業を行う。			指標	総計の現状値	R6実績値	泉大津市立図書館内の特産品直売所「CO-ON」や全国の展示会に出展するなどを通じて繊維のまち・泉大津を市内外にPRすることができた。 また、泉大津のプロモーションとなる特産品を発掘・創出することにより、泉大津市の知名度向上及び地域経済の活性化を図ることを目的としたおみやげコンテストを実施し、泉大津市ならではのおみやげ品を発掘することができた。	原則的にこれまでの体制を継続しながら、かつ新規事業を行い、さらに泉大津のプロモーションに力を入れる方向である。
総合計画の位置づけ					駅（泉大津駅、松ノ浜駅、北助松駅）の周辺に活気があると思う市民の割合	48.40%	41.80%		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち				製造業事業所当たりの純付加価値額	8,883万円	－		
個別目標	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち				繊維工業事業所の租付加価値額	11,317百万円	－		
個別目標の方向性		事業費（うち市負担額）【千円】			中小企業者に対する利子補給による金融支援件数	20件	36件		
		R5決算額	9,700	8,150					
		R6決算見込額	9,450	6,950					
		R7予算額	16,950	6,950					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
織編エッセイ賞事業		本市の特産品である毛布やニットをはじめ、繊維製品との関わりや思い出をテーマにしたエッセイを募集し、優秀な作品を表彰することによって「繊維のまち泉大津」を広くPRする。			指標	総計の現状値	R6実績値	著名な文化人が選考委員を務めるオリアム随筆賞を実施し、「繊維のまち・泉大津」を全国へPRすることができた。今年度からは選考委員に俳優である室井滋氏が就任し、SNS広告に力を入れることにより応募者数の増加、文学フォーラムへの参加人数の増加がみられた。	市内在住者の応募者数に増加傾向がみられないため、泉大津市立図書館と連携し、外部講師を招いたワークショップを実施を継続して行い、同賞の周知及び応募者数増加に取り組む。
総合計画の位置づけ					駅（泉大津駅、松ノ浜駅、北助松駅）の周辺に活気があると思う市民の割合	48.40%	41.80%		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち				製造業事業所当たりの純付加価値額	8,883万円	－		
個別目標	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち				繊維工業事業所の租付加価値額	11,317百万円	－		
個別目標の方向性		事業費（うち市負担額）【千円】			中小企業者に対する利子補給による金融支援件数	20件	36件		
		R5決算額	2,129	1,929					
		R6決算見込額	2,294	2,094					
		R7予算額	2,371	0					

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
港湾振興対策事業 (港湾エリア活性化事業補助金)		泉大津市内にある海側のエリアにおいて、地域の多様な主体が本市のまちづくりと一体となって活性化に取り組む事業に対し、補助金を交付することにより、魅力ある空間を創出し、市内外から交流人口の促進を図る。		指標	総計の現状値	R6実績値	泉大津海辺の夏祭り in NGRILL となり、ぎさ公園湾内吹上花火「AMAZING〜光と音の渚〜」が同時開催され、来場者数6,500人を記録した。 助松埠頭港湾福祉会館のレストランの開業に合わせトイレ改修工事が実施され、顧客満足度やリピート率の向上、SNSやクチコミへの好影響が見られた。	対象エリアのインフラが未整備であり、土地所有者である大阪港湾局がインフラ整備の方向性や条件を示していないため、当該地に興味を持つ事業者があっても事業実施に向けた検討に時間がかかる状況である。また、集客の見込みが不透明な中で初期投資が多額となるため、事業を開始するにあたっては慎重になり事業開始に至らない。
総合計画の位置づけ				港湾エリアで市が支援したイベント実施回数	7	7		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち							
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち							
		事業費（うち市負担額）【千円】						
		R5決算額	3,531	(3,531)				
個別目標の方向性	人が集まる拠点としてにぎわい・活気ある親しみやすい港湾エリアを目指します	R6決算見込額	4,254	(4,254)				
		R7予算額	30,000	(30,000)				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
港湾振興対策事業 (清掃業務委託事業)		港湾地区内の緑地、緑道及び歩道の景観について、常に良好な環境を維持する。 緑地(泉北4区)、小松緑道(泉北5区)、助松緑道(泉北6区)、汐見緑道(泉北7区)において清掃を行う。		指標	総計の現状値	R6実績値	各港湾地区の不法投棄ごみの量に応じた清掃回数を実施したことにより、緑道・歩道の良好な環境を維持できた。	現在、シルバー人材センターを活用し、港湾地区の緑道・歩道の美化に努めているが、当該地区においては、日常的に不法投棄やごみのポイ捨てなどが多くみられるため、利用者の美化意識の醸成に向けた意識啓発が必要である。港湾地区内の緑道・歩道は市民がジョギングや散歩をするコースであり、常に良好な景観を維持する必要がある。また、港湾地区は不法投棄ごみが非常に多いため、今後も清掃業務が必要である。
総合計画の位置づけ				港湾エリアに賑わいがあると思う市民の割合	47.5	47.2		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち							
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち							
		事業費（うち市負担額）【千円】						
		R5決算額	2,333	(2,333)				
個別目標の方向性	人が集まる拠点としてにぎわい・活気ある親しみやすい港湾エリアを目指します	R6決算見込額	2,415	(2,415)				
		R7予算額	2,525	(2,525)				